要求水準書(入居者移転支援業務編)に関する質問回答

No.	資料名	頁	第1	1	(1)	ア	(ア)	a	(a)	項目等	質問内容	回答
1	要求水準書	12	3	1						事前説明会の開催業務	地区外の居住者の方に、本事業について反対する方、事業の進捗に懸念となるような意見やそもそも事業自体への協力を反対する方はいますか？	周辺住民に対しては、令和6年度の団地再生計画策定に当たってアンケート調査(敷地境界から100mの範囲)を実施しているなか、反対の声は聞き及んでいません。
2	要求水準書	15	4	3	(2)	ア	(イ)			市の定める仮住居の条件	「原則、市が指定する住戸面積と同程度の物件であること。」とありますが、貴市が当該住戸面積を指定する時期をご教示ください。また、現時点で想定されている住戸面積をご教示ください。	事業契約締結後、協議のうえ、住戸面積を指定します。 なお、現時点では、要求水準書別紙4(住棟概要(令和7年5月1日時点))に記載の、住戸専用面積相当を想定しています。
3	要求水準書	16	4	3	(2)	ア	(イ)			市の定める仮住居の条件	「民間借家については、市が決定する賃料額、仲介手数料、保証金(敷金)、及び礼金の上限額以下であること。」とありますが、貴市が各上限額を決定する時期をご教示ください。また、現時点で想定されている各上限額をご教示ください。	事業契約締結後、協議のうえ、決定します。 なお、現時点では、No.2回答の住戸規模の桃陵市営住宅近傍民間借家の賃料額、仲介手数料額、保証金(敷金)及び礼金の額相当を想定しています。
4	要求水準書	16	4	3	(2)	イ	(イ)			仮住居の希望確認	その他解体住棟及び他の市営住宅の仮住居について、現在貴市が想定している使用可能戸数をそれぞれご教示ください。	現時点では、以下の通りです。 (その他解体住棟) 1～2階を活用すると想定し、約50戸程度確保可能 (他の市営住宅) 一般公募も並行して実施されるため未定ですが、仮移転者の希望に応じて、空き状況等を確認いたします。